

出雲市中小・小規模企業振興モデル事業の実施状況について

出雲市中小・小規模企業振興モデル事業の実施状況について、下記のとおり報告します。

1 モデル事業実施の目的

出雲市中小企業・小規模企業振興計画（以下、「振興計画」）に基づき、市内の企業経営者等で構成されるワーキンググループが主体となり、中小・小規模企業の成長・発展を図るためのモデル事業を提案・実施することにより、企業自らが課題に取り組む仕組みづくりや今後の中小・小規模企業の振興施策に活かしていくことを目的とする。

2 モデル事業募集の概要

(1) 募集期間

令和元年6月10日～7月31日

※本年度においては、商工支援団体の会員を中心に募集

(2) ワーキンググループ（WG）の要件

市内の企業や商工支援団体、金融機関、教育機関など複数の者によって構成されるグループであること。

(3) 活動内容

振興計画に掲げている施策で、市内中小・小規模企業実態調査においてニーズの高かった以下の施策についてモデル事業を提案・実施すること。

- ① 地域内での資金循環の促進
- ② 生産性向上に向けたIT化等の推進
- ③ 経営者の意識・行動改革と多様化する働き方への対応
- ④ 人材確保支援
- ⑤ 事業承継の支援
- ⑥ 第二創業の支援

(4) 事業費に対する補助

事業実施にあたり、出雲市中小・小規模企業振興モデル事業費補助金の活用が可能（1グループあたり上限100万円／年）。

(5) 補助対象期間

最長3年度間とするが、複数年度にわたる事業計画であっても、事業年度ごとに出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議（以下、「振興会議」）の承認を受けること。

なお、モデル事業終了後は、当該モデルの普及、改良等に努めること。

3 募集結果

提案された事業数：5事業

4 提案された事業の審査

令和元年8月23日に開催した振興会議において、事業計画書及び当日のプレゼンテーションを踏まえ、下記の視点により審査を行った。

項目	審査の視点
事業目的	取り組むテーマの目的が明確かつ妥当か。
事業内容	これまでに市や商工団体等が取り組んでいない内容もしくは既存施策の効果を高めることが期待できる内容か。
波及効果	市内企業の自主的な取組や横展開につながることを期待できるか。
自主性	WGが自ら企画を練り上げ、実施できる内容か。

5 事業実施を承認した事業（3事業）

①	WG名	神門通りうさぎプロジェクト
	構成員	日本ぜんざい学会壱号店 代表 田邊 達也 他3名
	事業名	ブランディングによる商店街振興の仕組みづくり
	事業概要	出雲大社に縁の深い「うさぎ」を新たなコンテンツとしてブランド化し、街歩きを兼ねた地域商品を開発することにより、商店街の自主財源を確保する収益モデルを構築する。
②	WG名	斐川特産協会
	構成員	有限会社宍道湖 代表取締役 原 秀範 他3名
	事業名	地域の特産品を活用した出雲ブランドの確立
	事業概要	生産者の共同による特産品の販売サイトの立ち上げや文化・歴史・観光・宿泊等と関連づけた特産品ガイドブックの作製及び道の駅との連携等による商品販売力や情報発信力の強化を図る。
③	WG名	空き家再生WG
	構成員	有限会社伊藤製材所 専務 伊藤 晃章 他9名
	事業名	空き家再生による移住・定住の促進とビジネスユースの拡大事業
	事業概要	市民参加型の空き家再生ワークショップや、居住及び商業利用の希望者を対象としたモニターツアーを実施し、空き家活用のニーズの掘り起こしを行う。また、シェアオフィスやシェアハウスとしての活用に向け、地元工務店、設計事務所等の参画による安価な空き家改修の仕組みを構築し、新規創業や移住・定住の促進を図る。

※実施する事業の詳細及び事業費については、今後協議により調整していきます。

※その他 2 事業については、審査の結果、保留となりました。今後、事業計画の修正等によっては承認される場合があります。

6 今後のスケジュール（予定）

令和元年 9 月～令和 2 年 2 月

モデル事業実施

令和 2 年 3 月下旬

第 4 回振興会議

- ・モデル事業実施結果報告
- ・事業の評価